

定峰峠トンネルの 効果について 調査が始まります



斉藤国土交通大臣へ早期の事業化を要望

秩父市では昭和62年より定峰峠トンネル開削促進期成同盟会を毎年開催し、早期の事業化が図られるよう国、県に対して要望活動を継続的に行っています。これまで35年以上の間、具体的な動きがありませんでしたが、このたび、事業効果などを検証する調査が開始されます。

定峰峠トンネルは、関越自動車道嵐山小川インターチェンジから秩父地域へのアクセス道路となるものであり、秩父地域の観光、産業や経済の発展はもとより、埼玉医科大学病院や小川赤十字病院などへの緊急搬送にかかる時間短縮が図られ、防災・安全面にも大きく寄与する道路です。また、今年の秋に、花園にアウトレットモーターの開業が予定されており、花園インターチェンジや国道140号の交通渋滞が予想されるため、定峰峠トンネルの必要性は一層高まります。

現時点では、調査段階であり、事業化が決定したわけではありませんが、今回の調査は、その実現に向けた第一歩となります。市では、引き続き早期の事業化に向けて、要望活動などに取り組みます。



市長 コラム

全国植樹祭開催候補地に選定

秩父市長 北堀 篤

第75回全国植樹祭は、令和7年に埼玉県内での開催が内定していますが、5月19日に行われた「第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会（第3回）」の中で、秩父ミューズパークが埼玉県の開催候補地として選定されました。

私は、この全国植樹祭を秩父地域で開催したいと強く訴えてまいりました。

昨年9月には、4町の町長、市の議長、林業関係団体や観光関係団体、埼玉県選出の国会議員や県議会議員の皆さまにご協力いただき「第75回全国植樹祭埼玉県開催秩父地域誘致推進委員会」を組織して、埼玉県準備委員会の委員の皆さまを訪問しました。このたびの開催候補地選定は、こうした誘致活動に込めた熱意が実を結んだ結果であると考えております。

今後、国土緑化推進機構との調整などを経て、11月以降に正式決定される予定です。全国植樹祭の開催は、秩父地域の魅力を全国に情報発信できるとともに、人々の生活にとってかけがえのない財産である森林との共生を進め、先人が守り育ててきた美しい森林を未

来に引き継ぐ思いを共有することのできる絶好の機会であります。

開催に際しては、秩父地域一丸となつて取り組み、天皇皇后両陛下をはじめ、全国から参加される皆さまを、秩父のおもてなしの心で温かくお迎えしたいと思います。

さて、市民の皆さまには大変ご心配をおかけしましたが、昨年4月から1年以上不在となつていた副市長につきましても、5月臨時会で同意いただき、石関千春氏が選任されました。副市長として、秩父市発展のために力を発揮していただけると確信しております。任期は、令和4年6月1日から4年間です。

副市長と力を合わせ、これまで以上に市民の皆さまのため、努めてまいります。よろしくお願いいたします。

